

訪問リハビリにおけるリハビリスタッフの取り組み


～「散歩がしたいです」身体機能向上により意欲的な発言が増えた症例～

利用者情報 40歳代男性 病名：頸椎椎間板ヘルニア脊髄症
既往歴：知的障害
本人の希望：歩きたい 好きな雑誌を取りに行きたい

■リハビリ評価

	介入初期 (2019/12/9)	現在の状態 (2021/7/20) 
F I M	94	107
	「トイレ動作・ベッド移乗・トイレ移乗・移動」を中心に改善している	
歩行距離	車椅子で実施困難 	約600m 
片脚立位時間	実施困難	(左) 15秒、(右) 22秒

■リハビリ目標

	介入初期 (2019/12/9)	現在の状態 (2021/7/20) 
リハビリ目標	バランス能力が向上し、見守り下で居室内の移動ができる。	階段を使用しない1Fでの移動が全面的に自立となる。屋外歩行が見守りで20分行える（障がい者会館へ独歩見守りで通うことができる）

【介入当初】

グループホーム入所中の方で、屋内は介助歩行と車椅子の併用、屋外は車椅子での生活を送られていました。歩行はバランスが不良なこともあり、転倒の危険性が高く常に介助を必要としました。身体機能としては、体幹・下肢の筋力低下を認め、既往歴に知的障害があることもあり、「危険認識が低い」「複雑な運動内容の理解が難しい」「集中力が続きにくい」等の症状を認めました。

【リハビリ内容】

体幹・脚の筋力とバランス能力の向上を目指し、本人が理解しやすい「簡単な運動内容の反復」を実施しました。運動の「注意点も口頭で確認」し、理解が進むように実施しました。加えて、運動内容の点数を「100点です。80点です。」と伝えることで注意が続くよう工夫をしました。

【改善点】

身体機能面では体幹・下肢の筋力が向上しました。筋力が向上するにつれて、立位バランスの向上にも繋がりました。簡単な運動や歩行時の注意点も覚えることが可能となり、屋内歩行は自立、屋外歩行は時折躓きもあるため見守り～軽介助と改善しています。

【現在の様子】

日中の居室やトイレ・洗面台への移動が1人でできるようになりました。居室周辺の移動が自立となったことで、本人が好きな雑誌を好きな時に読む・片づけることが可能となり、生活の幅が広がりました。リハビリでは、屋外の歩行訓練を実施できる程に身体機能が向上されています。本人より「散歩がしたいです」とリハビリを楽しみにされている発言があります。以前と比較し、居室周囲の移動が自立され、屋外歩行も行えるようになり「できることが増えて嬉しい」と、充実した生活を送っています。



■ADLの変化



①車椅子移動⇒室内移動の自立

好きな雑誌を取りに行けるようになりました。



居室（本棚周辺）

②ポータブルトイレ見守り⇒洋式トイレ自立

ポータブルトイレの使用からトイレに1人で行けるようになりました。



室内移動（トイレ）

③車椅子⇒屋外歩行 15分、見守り～軽介助を獲得

施設職員の方とも一緒に歩けるようになりました。



屋外歩行



【現在の気持ち】

「今日は散歩に行けますか？」と屋外歩行訓練が楽しみ。

1人で本棚へ移動が出来て嬉しい。リハビリ時に見せたいものを取りに行くことも。



インテリジェントヘルスケア株式会社

〒530-0047 大阪府大阪市北区西天満4丁目11-23 満電ビル3階

TEL: 06-6312-5000 (代表) FAX: 06-6312-5099

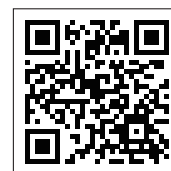
<https://nursing.nursing-hc.co.jp/>

Intelligent Healthcare Co., Ltd.



イメージキャラクター
ワータンちゃん

ホームページはこちら!



2021年8月現在